

## 広島文教女子大学 科目のナンバリングについて

### I. ナンバリングとは...

ナンバリングは、広島文教女子大学で開講されているすべての科目を文字や番号、記号を組み合わせて表記することにより、

- ①本学および学科が学生に修得してもらいたいと考える「力」のうち、その科目によって修得できる力はこういったものであるのかを理解することができます。なお、修得できる力は本学のディプロマ・ポリシーに対応しています。
- ②その科目が学びのプロセスにおいて、どのような水準にある科目なのか、あるいは、どの時期に履修するのか（学修の順序）を理解することができます。
- ③大学での学びを体系的に理解し、自らの学びの進行状況を確認しながら自立した学修者を目指す上で役立てることができます。

以上の点を踏まえ、シラバスに明記されたナンバリングを参照しながら履修登録し、学修の計画を立てるようにして下さい。

### II. ナンバリング表記の仕組み

#### 1. 科目が開講されている学部

本学では現在、すべての科目が「人間科学部」で開講されています。人間科学部は「H」という文字で示されます。

#### 2. 科目が開講されている学科

本学では人間科学部の中に、5つの学科が設置されています。学籍番号の表記に準じ、それぞれの数字が学科を示します。

3＝初等教育学科

4＝人間福祉学科

5＝心理学科

6＝人間栄養学科

8＝グローバルコミュニケーション学科

なお、教養教育部で開講されている科目は「0」で表記します。

#### 3. 到達目標との対応

2017年度より、建学の精神及び学園訓に基づき、「卒業認定・学位授与の方針」＝ディプロマ・ポリシーを改めて策定しました。そこでは以下の能力の修得及び育成が目指されています。

- (1) 状況を見極め適切に判断し、計画を具体的な行動に移す能力（実践力）
- (2) 自らを律し、社会でたくましく生き抜こうとする姿勢（自律性）
- (3) リテラシーに基づくコミュニケーション力
- (4) 専門的な知識・技能の活用力
- (5) 豊かな人間性（育心 育人）

上記5つのディプロマ・ポリシーの詳細及び、教養教育部と各学科がそれぞれにおける学びの特性をふまえて定めたディプロマ・ポリシーについては、本学のホームページをご覧ください。

それぞれの科目の受講および単位の修得が、ディプロマ・ポリシーで修得及び育成が目指されているどの力に結びついているかによって、( ) 内に 1~5 の数字が記されます。なお、複数の力の修得及び育成に結びついている場合には、( ) 内に複数の数字が記されます。

#### 4. 開講時期（学びの深まり）

各科目には開講時期が定められています。本学では1年次～4年次まで、それぞれ前期・後期に分けて授業が開講されていますので、授業の開講時期は下表の通り  $4 \times 2 = 8$  つ存在しています。当然のことながら、開講時期が遅くなるほど、より高度な内容の授業となります。

1年次		2年次		3年次		4年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	2	3	4	5	6	7	8

以上の点を踏まえると、本学のナンバリングがどのように成り立っているかが分かります。

例えば、人間栄養学科の「公衆衛生学Ⅱ」という科目があります。この科目のナンバリングは「H6 (4) 3」となっています。これは、本科目が人間科学部 (=H) 人間栄養学科 (=6) の、ディプロマ・ポリシーの(4) リテラシーに基づくコミュニケーション力の修得が目指されており、2年次前期に開講される (=3) 科目であることが示されています。

このように、科目のナンバリングと添付の表を突き合わせてみると、それぞれの科目がどのような内容を修得するためのものであるかが理解できます。

自分自身がこれまで修得してきた科目やこれから修得しようとする科目のナンバリングを確認することで、自らの学びに偏りが無いか、また、適切なプロセスを踏んで学びを進めているのかなどを理解することができます。このような取り組みが「自立した学修者」として成長する上で大きな力となります。ぜひナンバリングを活用して下さい。

## カリキュラムマップと履修のフローについて

カリキュラムマップは、各学科において、それぞれの専門科目がどの学年に配置されているのかを把握するものです。学生生活ハンドブックに掲載されています。

また、履修のフローについては、「ディプロマポリシー」が策定されたことをうけ、それぞれの科目がディプロマポリシーに定められたどの力の修得に寄与するのかが系統的に理解できるようになっています。それぞれの力を身につけるための学修の流れ（フロー）を確認することもできます。もちろん、各科目の配置はナンバリングにも対応しています。

両者を活用し、各自の学びの深まりに沿った履修計画を立てましょう。